

交流のひろば

おたより コーナー

自分で作った 蛍光灯に喜び

堀之下町 大塚 直哉 11

ぼくは、友達に誘われて、桂萱公民館の「ものづくり教室・ペットボトルで蛍光灯を作るつ」に参加しました。もともとのものづくりは得意ではないのですが、大勢なら楽しいだろうと思い、参加を決めました。ペットボトルで蛍光灯を作る。な

まちのニュース NEWS

子どもを魅了 大きな紙芝居

元総社地区

元総社公民館では十一月十六日「子ども劇場」を行いました。地域づくり活動促進事業の一環で、元総社地区ボランティア連絡協議会と同館が共同で実施しているもの。普段は木曜に開催していますが、今回は学校が週五日制になったた

め土曜に行いました。

育英短大児童文化クラブの学生五人が、紙芝居で「ヘンゼルとグレーテル」「しよじよ寺」の二つの物語を披露。紙芝居は、畳一畳もの大きさで、集まった五十人の親子はびっくりしていました。

学生たちは、保育園や幼稚園を回り、人形劇などをしながら子どもと触れ合っているのが、話術も抜群。歌や手拍子を交えながら、分かりやすく物語を紹介しました。参加者には「とても面白かった」「もっと見たい」と大好評で、楽しいひとときになったようです。



まえばしの動物植物 ③③

シラカシ

市自然環境保全推進委員

小暮 市郎



「ドングリころころ」と歌われるドングリは晩秋から初冬に成熟し、郷愁をそそります。ドングリのなる木には、クリ・コナラ・クヌギ・シラカシ・アラカシ・スタジイ・マテバシイなどがあります。その中でもシラカシは、屋敷の周囲に植えられて「かしぐね」と呼ばれる防風林に利用され、空つ風から家屋を守ってきました。きれいに刈り込まれた「かしぐね」は、桑畑とともに上州の冬の風物詩でした。

シラカシの実（ドングリ）は長さ十五 くらい。実の基部のおわんに六本から八本の輪があるのが特徴です。